

# 2025年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年10月15日

上場会社名 株式会社 INGS 上場取引所 東

コード番号 245A URL https://ingsinc.co.jp

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青柳 誠希

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 鈴木 建 (TEL) 03(6205)5039

定時株主総会開催予定日 2025年11月28日 配当支払開始予定日 —

有価証券報告書提出予定日 2025年11月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 有 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年8月期の業績(2024年9月1日~2025年8月31日)

# (1)経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年8月期	7, 732	20. 5	490	8. 9	449	5. 6	272	△4. 7
2024年8月期	6, 418	22. 0	450	59. 2	425	60. 2	285	319. 1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2025年8月期	110. 25	107. 59	20. 0	11. 2	6. 3
2024年8月期	142. 95	_	45. 6	13. 4	7. 0

(参考) 持分法投資損益 2025年8月期

一百万円 2

2024年8月期

一百万円

- (注) 1. 2024年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は 非上場であったことから、期中平均株価が把握できないため、記載しておりません。
  - 2. 2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算出しております。

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円銭	
2025年8月期	4, 563	1, 960	43. 0	778. 59	
2024年8月期	3, 451	770	22. 3	385. 13	

(参考) 自己資本 2025年8月期 1,960百万円

2024年8月期

770百万円

(注) 2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が 行われたと仮定し、1株当たり純資産を算出しております。

## (3) キャッシュ・フローの状況

( )					
	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円	百万円	百万円	百万円	
2025年8月期	597	△738	714	1, 579	
2024年8月期	665	△434	113	1, 005	

# 2. 配当の状況

		年間配当金					配当性向	純資産
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	田田田田	配当率
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年8月期	_	0.00	_	0.00	0.00	_	_	_
2025年8月期	_	0.00	_	0.00	0.00	_	_	_
2026年8月期 (予想)	_	0. 00	_	0. 00	0. 00			

## 3. 2026年8月期の業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円 %	百万円 %	百万円 %		円銭	
通期	9, 590 24. 0	596 21.4	565 25. 7	339 24.8	135. 03	

### ※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
①以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2025年8月期	2, 517, 900株	2024年8月期	2, 000, 000株
2025年8月期	一株	2024年8月期	一株
2025年8月期	2, 470, 751株	2024年8月期	2, 000, 000株

- (注) 2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、上記の株式数は算出しております。
- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

# (決算補足説明資料の入手方法)

当社は2025年10月15日(水)に決算補足説明資料をTDnetで開示し、開示後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

# ○添付資料の目次

1.	経営成績等の概況	2
	(1) 当期の経営成績の概況	2
	(2) 当期の財政状態の概況	3
	(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
	(4) 今後の見通し	4
2.	会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3.	財務諸表及び主な注記	5
	(1) 貸借対照表	5
	(2) 損益計算書	7
	(3) 株主資本等変動計算書	8
	(4) キャッシュ・フロー計算書	9
	(5) 財務諸表に関する注記事項	
	(継続企業の前提に関する注記)]	l 1
	(損益計算書関係)	
	(セグメント情報等)]	
	(持分法損益等)	
	(1株当たり情報)	15
	(重要な後発事象)]	16

### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2024年9月1日から2025年8月31日)におけるわが国経済は、社会・経済活動の正常化、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかに回復をしております。また、海外からの入国制限緩和等から、インバウンド消費もコロナ禍前を超えるような状況となっております。一方、原材料価格の高騰や、それに伴う物価上昇、米国の関税引き上げによる影響など不確定要素も多く、景気の動向は依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する外食業界におきましては、経済正常化に伴う人流回復により、客数は引き続き回復傾向にある一方で、上述の原材料価格の上昇や労働力不足に伴う人件費の上昇等、引き続き厳しい経済環境が継続している状況となっております。このような状況の下、当社はメニューの変更や、価格の見直し、店舗運営におけるオペレーションの見直し等を行いながら、対応を図っております。

### (ラーメン事業)

ラーメン事業におきましては、直営店では、「らぁ麺 はやし田」新橋店、渋谷宇田川町店、北千住店、アトレ新浦安店、田町芝浦店に加え、「日本油党」中野支部、新ブランドである「横浜家系ラーメン みどり」、「スタミナラーメン 鬼山」渋谷店の8店舗をオープンしており、合計38店舗となりました。引き続き「らぁ麺 はやし田」ブランドを中心に新規出店しながらも、その他ブランドでも複数出店をしております。

その他取り組みとしましては、売上高対策として、2025年2月以降「日本油党」におけるメイン商品の値上げを行ったこと、「らぁ麺 はやし田」においても一部サイドメニューの値上げを行ったこと、また、UberEatsを始めとしたデリバリー需要の獲得も積極的に図っております。そのような中、既存店売上高は前年同期比で105.7%の結果となりました。

プロデュース店では、既存オーナーの増店もあり、新規で12店舗がオープンしておりますが、運営会社側の人 員不足等の要因を背景に、12店舗減少(直営店への切り替え含む。)もあり、合計69店舗となりました。

この結果、ラーメン事業の売上高は4,083,240千円(前年同期比24.1%増)、セグメント利益は383,498千円(前年同期比15.3%増)となりました。

### (レストラン事業)

レストラン事業におきましては、直営店では、「CONA」田町芝浦店、町田店、京急蒲田店及び新ブランドである「金目樽」溝の口店、「魚の登竜門 すしショップ百太郎」の5店舗が新規オープンしており、「CONA」では合計20店舗、「焼売のジョー」及びその他ブランドでは合計16店舗となりました。

なお、ライセンス店では、「CONA」が直営店への切り替えに伴い1店舗減少し、合計27店舗、「焼売のジョー」は1店舗新規出店をしており、合計4店舗となっております。

その他取り組みとしましては、原価上昇の顕著な商品を入れ替えることでの原価コントロールや、2つの新ブランドがオープンしたことから、それらのメニューやオペレーションのブラッシュアップを図っております。そのような中、既存店売上高は前年同期比で105.4%の結果となりました。

なお、2018年10月における株式会社キャンディーBOX全株式の取得、2021年8月の同社吸収合併に伴い、当社の販売費及び一般管理費としてのれん償却費及び無形資産償却費108,481千円を計上しております。

この結果、レストラン事業の売上高は3,649,389千円(前年同期比16.7%増)、セグメント利益は107,326千円 (前年同期比9.1%減)となりました。

### (全社)

上記の結果、当事業年度の業績は、売上高7,732,630千円(前年同期比20.5%増)、営業利益490,824千円(前年同期比8.9%増)、経常利益449,930千円(前年同期比5.6%増)、当期純利益272,387千円(前年同期比4.7%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

当事業年度末における総資産は、現金及び預金が573,822千円、新規出店に伴い有形固定資産が373,752千円、 敷金及び保証金が109,018千円増加したことなどにより、4,563,617千円(前事業年度末比1,112,543千円の増加) となりました。

### (負債)

当事業年度末における負債は、買掛金が34,803千円、未払金が43,013千円、未払費用が52,199千円、1年内返済予定の長期借入金が31,540千円増加したものの、1年内償還予定の社債が73,000千円、未払法人税等が21,227千円、社債が25,000千円、長期借入金が116,856千円減少したことなどにより、2,603,203千円(前事業年度末比77,616千円の減少)となりました。

### (純資産)

当事業年度末における純資産は、新規上場に伴う公募増資等により資本金及び資本剰余金が917,770千円増加したこと、また、当期純利益272,387千円を計上したことにより1,960,414千円(前事業年度末比1,190,159千円の増加)となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物は、前事業年度末と比べて573,822千円増加し、1,579,575千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動によるキャッシュ・フローは597,724千円の収入となりました(前事業年度は665.665千円の収入)。

主な増加要因は、税引前当期純利益425,095千円、減価償却費164,021千円、のれん償却額92,467千円、仕入債務の増加額34,803千円、未払費用の増加額52,199千円などであり、主な減少要因は、法人税等の支払額191,969千円などであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動によるキャッシュ・フローは738,138千円の支出となりました。(前事業年度は434,958千円の支出)。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出522,045千円、敷金及び保証金の差入による支出110,986千円などであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動によるキャッシュ・フローは714,237千円の収入となりました(前事業年度は113,604千円の収入)。

主な増加要因は、長期借入れによる収入340,000千円、株式の発行による収入909,616千円などであり、主な減少要因は、長期借入金の返済による支出425,316千円、社債の償還による支出98,000千円などであります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきまして、国内において物価上昇圧力が徐々に落ち着いてくることに合わせ、消費者マインドが改善、個人消費の緩やかな持ち直しが続くと期待されること、インバウンド需要の継続も合わせて見込まれること等を踏まえ、2026年8月期の予想を策定しております。

2026年8月期の新規出店につきましては、ラーメン事業で11店舗、レストラン事業で8店舗の計19店舗(純増では17店舗)を計画しております。これらにつきましては、物件の質等も踏まえた上で実行をし、持続的な成長を引き続き追求していく所存です。また、ラーメン事業におけるプロデュース部門及びレストラン事業におけるライセンス部門につきましては、2026年8月期では、合計で純増17店舗の増加を計画しております。

以上を踏まえまして、2026年8月期の予想につきましては、売上高9,590百万円、営業利益596百万円、経常利益565 百万円、当期純利益339百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準(IFRS)の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

# 3. 財務諸表及び主な注記

# (1) 貸借対照表

	前事業年度	当事業年度
	(2024年8月31日) ————————	(2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1, 005, 752	1, 579, 57
売掛金	145, 797	164, 80
原材料及び貯蔵品	22, 468	24, 94
前渡金	2, 628	5,00
前払費用	78, 303	95, 79
その他	52, 011	94, 65
流動資産合計	1, 306, 961	1, 964, 78
固定資産		
有形固定資産		
建物	1, 365, 351	1, 766, 70
減価償却累計額	△319, 394	△409, 29
建物(純額)	1, 045, 956	1, 357, 41
構築物	384	38
減価償却累計額	△384	△38
構築物(純額)		
機械及び装置	15, 170	13, 17
減価償却累計額	△15, 170	△13, 17
機械及び装置 (純額)	0	
工具、器具及び備品	234, 667	286, 77
減価償却累計額	△163, 390	△180, 97
工具、器具及び備品(純額)	71, 276	105, 80
リース資産	8, 181	8, 18
減価償却累計額	$\triangle 4,879$	$\triangle 5,68$
リース資産 (純額)	3, 302	2, 49
建設仮勘定	19, 693	48, 27
有形固定資産合計	1, 140, 229	1, 513, 98
無形固定資産		
契約関連無形資産	90, 909	72, 72
ソフトウエア	93	
のれん	361, 199	297, 62
無形固定資産合計	452, 201	370, 35
投資その他の資産		
破産更生債権等	-	92
長期前払費用	54, 828	78, 73
繰延税金資産	60, 595	91, 38
敷金及び保証金	406, 307	515, 32
その他	26, 335	28, 51
貸倒引当金	-	△92
投資その他の資産合計	548, 067	713, 95
固定資産合計	2, 140, 498	2, 598, 29
繰延資産	2, 110, 100	2, 000, 20
社債発行費	3, 614	54
操延資産合計	3,614	54
資産合計	3, 451, 074	4, 563, 61
久/上口HI	0, 101, 011	7, 000, 01

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年8月31日)	当事業年度 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	222, 824	257, 627
1年内償還予定の社債	98, 000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	424, 339	455, 880
未払金	47, 949	90, 963
未払費用	185, 622	237, 822
契約負債	7, 804	4, 553
未払法人税等	111, 627	90, 400
リース債務	3, 165	2, 975
賞与引当金	41,740	55, 900
資産除去債務	_	2, 062
その他	108, 466	91, 645
流動負債合計	1, 251, 541	1, 314, 832
固定負債		
社債	25, 000	-
長期借入金	1, 172, 680	1, 055, 823
リース債務	4, 829	1,853
資産除去債務	144, 032	166, 533
その他	82, 736	64, 160
固定負債合計	1, 429, 279	1, 288, 371
負債合計	2, 680, 820	2, 603, 203
純資産の部		
株主資本		
資本金	10, 000	11, 530
資本剰余金		
資本準備金	-	458, 885
その他資本剰余金	-	457, 355
資本剰余金合計		916, 240
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	760, 254	1, 032, 642
利益剰余金合計	760, 254	1, 032, 642
株主資本合計	770, 254	1, 960, 414
純資産合計	770, 254	1, 960, 414
負債純資産合計	3, 451, 074	4, 563, 617

# (2) 損益計算書

		(単位:千円)
	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
売上高	6, 418, 581	7, 732, 630
売上原価		
期首原材料棚卸高	15, 631	21, 794
当期原材料仕入高	2, 185, 065	2, 559, 671
合計	2, 200, 696	2, 581, 465
期末原材料棚卸高	21, 794	24, 592
売上原価合計	2, 178, 902	2, 556, 873
売上総利益	4, 239, 679	5, 175, 756
販売費及び一般管理費	3, 789, 086	4, 684, 931
営業利益	450, 592	490, 824
営業外収益		,
受取利息	69	2, 145
受取手数料	1,045	1, 274
受取補償金	835	_
保証金回収益	500	_
受取保険金	1, 029	-
助成金収入	_	600
その他	443	139
営業外収益合計	3, 924	4, 159
営業外費用		1, 100
支払利息	19, 183	23, 615
社債発行費償却	5, 038	3, 073
株式交付費	-	8, 155
上場関連費用	2,000	9, 185
その他	2, 405	1, 023
営業外費用合計	28, 626	45, 053
経常利益	425, 890	449, 930
特別利益		110,000
固定資産売却益	8,000	_
資産除去債務戻入益	3, 189	_
店舗閉鎖損失引当金戻入額	4, 975	_
受取保険金	-	<b>*</b> 1 20, 747
特別利益合計	16, 165	20, 747
特別損失	10, 103	20, 141
減損損失	_	28, 949
固定資産除却損	_	*2 5,512
火災損失		*3 11, 120
特別損失合計	440.055	45, 583
税引前当期純利益	442, 055	425, 095
法人税、住民税及び事業税	159, 874	170, 742
法人税等調整額	△3, 717	△18, 035
法人税等合計	156, 156	152, 707
当期純利益	285, 899	272, 387

## (3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
		資本剰余金		利益剰余金				
	資本金	資本準備金	その他資本剰 余金	資本剰余金合計	その他利益剰 余金 繰越利益剰余 金	利益剰余金合	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	10,000	-	-	-	474, 355	474, 355	484, 355	484, 355
当期変動額								
当期純利益	-	-	-	-	285, 899	285, 899	285, 899	285, 899
当期変動額合計	-	-	-	-	285, 899	285, 899	285, 899	285, 899
当期末残高	10, 000	1	_	-	760, 254	760, 254	770, 254	770, 254

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

株主資本								
		資本剰余金			利益剰余金			]
	資本金	資本準備金	その他資本剰 余金	資本剰余金合計	その他利益剰 余金 繰越利益剰余 金	利益剰余金合	株主資本合計	純資産合計
当期首残高	10, 000	-	-	-	760, 254	760, 254	770, 254	770, 254
当期変動額								
新株の発行	458, 885	458, 885	-	458, 885	-	-	917, 771	917, 771
減資	△457, 355	-	457, 355	457, 355	-	-	-	-
当期純利益	-	-	-	-	272, 387	272, 387	272, 387	272, 387
当期変動額合計	1, 530	458, 885	457, 355	916, 240	272, 387	272, 387	1, 190, 159	1, 190, 159
当期末残高	11, 530	458, 885	457, 355	916, 240	1, 032, 642	1, 032, 642	1, 960, 414	1, 960, 414

# (4) キャッシュ・フロー計算書

	前事業年度	当事業年度
	(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	442, 055	425, 0
減価償却費	125, 410	164, 0
長期前払費用償却額	17, 947	26, 7
社債発行費償却	5, 038	3,0
減損損失	_	28, 9
のれん償却額	90, 299	92, 4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△891	G
賞与引当金の増減額 (△は減少)	11, 784	14, 1
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△8, 376	
受取利息	△69	$\triangle 2$ , 1
支払利息	19, 183	23, 6
固定資産売却損益(△は益)	△8, 000	
資産除去債務戻入益	△3, 189	
受取保険金	-	△20, 7
上場関連費用	-	9, 1
株式交付費	-	8, 1
固定資産除却損	-	5, 5
火災損失	-	11, 1
売上債権の増減額(△は増加)	△23, 057	△19, 0
棚卸資産の増減額(△は増加)	$\triangle 6,405$	$\triangle 2, 4$
前払費用の増減額(△は増加)	△3, 305	△17, 5
仕入債務の増減額(△は減少)	36, 585	34, 8
未払金の増減額(△は減少)	6, 988	17, 9
未払費用の増減額(△は減少)	54, 284	52, 1
その他の資産の増減額 (△は増加)	△18, 692	△48, 1
その他の負債の増減額 (△は減少)	13, 380	△15, 8
その他	1, 758	1, 5
小計	752, 727	793, 6
利息の受取額	69	2, 1
利息の支払額	△19, 148	$\triangle 23, 5$
法人税等の支払額	△67, 983	△191, 9
保険金の受取額	_	20, 7
火災損失の支払額	_	$\triangle 3, 2$
営業活動によるキャッシュ・フロー	665, 665	597, 7
と 資活動によるキャッシュ・フロー	,	,
有形固定資産の取得による支出	△344, 931	△522,0
有形固定資産の売却による収入	8,000	_ ,
事業譲受による支出		△55,0
敷金及び保証金の差入による支出	△82, 137	△110, 9
敷金及び保証金の回収による収入	13, 608	<u></u>
長期前払費用の取得による支出	△36, 798	△50, 1
その他	7, 300	<u></u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	$\triangle 434,958$	

		(単位:千円)
	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△10,000	_
長期借入れによる収入	836, 120	340,000
長期借入金の返済による支出	△488, 705	△425, 316
社債の償還による支出	△121,000	△98, 000
長期未払金の返済による支出	△100 <b>,</b> 000	-
株式の発行による収入	-	909, 616
上場関連費用の支出	-	△9, 185
その他	△2,810	△2,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	113, 604	714, 237
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	344, 311	573, 822
現金及び現金同等物の期首残高	661, 441	1, 005, 752
現金及び現金同等物の期末残高	1, 005, 752	1, 579, 575

### (5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

### (損益計算書関係)

### ※1 受取保険金

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

「焼売のジョー」立川店にて火災が発生したことに伴う復旧費用等につき、確定した保険金を計上したものであります。

### ※2 固定資産除却損

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

「らぁ麺 はやし田」新宿店における店舗改装(リニューアルオープン)に伴うものであります。

#### ※3 火災損失

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

「焼売のジョー」立川店にて火災が発生したことに伴う復旧費用等につき、11,120千円を損失として計上しております。なお、「焼売のジョー」立川店含む、当社運営店舗に係る資産には全て火災保険が付保されております。

### (セグメント情報等)

### 【セグメント情報】

- 1 報告セグメントの概要
  - (1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社では、商品・サービス別の事業部門を置き、各事業部門は取り扱う商品・サービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業部門別のセグメントから構成されており、「ラーメン事業」及び「レストラン事業」の2つを報告セグメントとしております。

### (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ラーメン事業」は、主に「らぁ麺 はやし田」、「日本油党」等の直営店部門及びプロデュース部門により構成されております。

「レストラン事業」は、主に「CONA」、「焼売のジョー」等の直営店部門及びライセンス部門により構成されております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「重要な会計方針」における記載と概ね同一であります。 3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報 前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

					(十)小 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	報告セグメント			三田 車外 存立	<b>∧</b> ∌I.	
	ラーメン事業	レストラン事業	計	調整額	合計	
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3, 290, 437	3, 128, 144	6, 418, 581	_	6, 418, 581	
その他の収益	_	_	_	_	_	
外部顧客への売上高	3, 290, 437	3, 128, 144	6, 418, 581	_	6, 418, 581	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	_	_	
計	3, 290, 437	3, 128, 144	6, 418, 581		6, 418, 581	
セグメント利益	332, 571	118, 021	450, 592	_	450, 592	
その他の項目						
減価償却費	54, 326	71, 083	125, 410	_	125, 410	
のれんの償却額	_	90, 299	90, 299	_	90, 299	

- (注) 1. セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。
  - 2. セグメントごとの資産及び負債につきましては、各報告セグメントへの配分を行っていないため、記載を省略しております。

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

					(+) · 1 1 1 1 /
		報告セグメント		調整額	<b>∧</b> ∌I.
	ラーメン事業	ラーメン事業 レストラン事業 計		<b></b>	合計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4, 083, 240	3, 649, 389	7, 732, 630	_	7, 732, 630
その他の収益	_	_	_	_	_
外部顧客への売上高	4, 083, 240	3, 649, 389	7, 732, 630	_	7, 732, 630
セグメント間の内部 売上高又は振替高	_	_	_	-	_
1111	4, 083, 240	3, 649, 389	7, 732, 630	_	7, 732, 630
セグメント利益	383, 498	107, 326	490, 824	_	490, 824
その他の項目					
減価償却費	77, 608	86, 413	164, 021	_	164, 021
のれんの償却額	2, 167	90, 299	92, 467	_	92, 467
減損損失	_	28, 949	28, 949	_	28, 949

- (注) 1. セグメント利益の合計額は、損益計算書の営業利益と一致しております。
  - 2. セグメントごとの資産及び負債につきましては、各報告セグメントへの配分を行っていないため、記載を省略しております。

### 【関連情報】

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報 セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

### 2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産の金額がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

### 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)該当事項はありません。当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

# 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

		報告セグメント			
	ラーメン	レストラン	⇒ı	全社・消去	合計
	事業	事業	計		
当期償却額	_	90, 299	90, 299	_	90, 299
当期末残高	_	361, 199	361, 199	_	361, 199

# 当事業年度(自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

		報告セグメント			
	ラーメン	レストラン	⇒L.	全社・消去	合計
	事業	事業	計		
当期償却額	2, 167	90, 299	92, 467	_	92, 467
当期末残高	26, 728	270, 899	297, 627	_	297, 627

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】 該当事項はありません。

# (持分法損益等)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり純資産額	385円13銭	778円59銭
1株当たり当期純利益金額	142円95銭	110円25銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	_	107円59銭

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
  - 2. 2024年6月18日付で1株につき20株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算出しております。
  - 3. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)	当事業年度 (自 2024年9月1日 至 2025年8月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	285, 899	272, 387
普通株主に帰属しない金額(千円)	_	_
普通株式に係る当期純利益(千円)	285, 899	272, 387
普通株式の期中平均株式数(株)	2,000,000	2, 470, 751
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当 期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予 約権の数4,007個)。	_

# (重要な後発事象)

該当事項はありません。